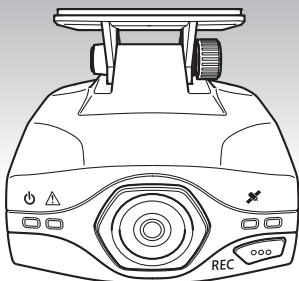


取扱説明書

360°ドライブレコーダー

SAA3060370

(本体記載型名：THD-601SA)



このたびは当社のドライブレコーダーをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
ございます。

この取扱説明書は、本製品の操作手順について記載しています。

本製品を正しくご使用いただくために本書をよくお読みください。

また、お読みになった後は、いつでも見ることができるところに保管してください。



電源をONにした状態では絶対にmicroSDカードの抜き挿しを行わないでください。microSDカードの破損や録画データの破損の原因となります。必ずエンジンを停止し、LEDランプが消灯したことを確認後、microSDカードの抜き挿しを行ってください。

目次


はじめに	3
安全上のご注意	3
ご使用上のお願い	5
各部の名称	6
アプリケーションのインストール	7
映像を撮る	12
microSDカードの取り付け/取り外し	12
電源をONにする	13
電源をOFFにする	13
映像の記録について	14
各種設定の変更	17
映像を見る	22
ビューアソフトの起動と終了	22
ビューアソフトの操作方法	23
付録	44
よくあるご質問	44
LED ランプ確認表	45
製品仕様	46


はじめに

安全上のご注意

この「安全上のご注意」では、本製品を正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。

警告表示の意味

 **警告** この注意事項を守らないと、使用者が死亡したり又は重症を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害が発生したりすることが考えられる内容を示しています。



警告

分解改造しない。

分解や改造は危険ですので行わないでください。

火災や感電の原因となります。

運転者は運転中に本製品を操作しない。

わき見や前方不注意により交通事故の原因になります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

本製品を医療機器の近くで使用しない。

電磁波により医療機器に悪影響を与えるおそれがあります。

異常時（破損、発熱、異臭、発煙など）は、すぐに電源を切る。

そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。

また、取付車両の故障原因となります。

microSDカードはお子様に触れさせない。

誤って飲み込むと、のどなどにつまらせ重大な障害につながります。

また最悪の場合、死亡につながるおそれがあります。



注意

本製品をぬらさない。ぬれた手で触らない。金属物や異物を入れない。

火災や感電、故障の原因となります。

本製品の取り扱いに際し、アルコール、シンナー、ベンジンなどの引火性溶剤を使用しない。

火災の原因となります。また、変形や変質・破損の原因となります。

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしない。

故障の原因となります。

本製品の近くに、磁石などの磁気を帯びた素材を置かない。

故障の原因となります。



注意

microSDカードスロットへ、microSDカード以外のものを入れない。
本製品が破損するおそれや、火災、感電の原因となります。

microSDカードの挿入口に手や指を入れない。

けがの原因になります。

microSDカードは正しく挿入し、正しく取り扱う。

挿入する際に向きを間違えると、microSDカードの破損や機器が故障する原因となります。また、以下のような取り扱いをした場合、画像やデータが記録できなかったり破損したりする可能性があります。

- ・ 静電気や電気ノイズを加えた場合
- ・ 水にぬらしたり、曲げたり、強い衝撃を与えた場合
- ・ 本体の動作中にmicroSDカードを抜いた場合
- ・ パソコンでの操作時に誤った取り扱いを行った場合
- ・ 長期間使用しなかった場合

microSDカードは、本製品の電源がOFFの状態抜き挿しする。

電源がONの状態でもmicroSDカードを抜き挿しすると、microSDカードの破損や録画データの破損の原因となります。

microSDカードは定期的に交換する。

microSDカードは消耗品です。長期間使用したり、不具合が発生した場合はmicroSDカードを交換してください。安定した機能維持のためにはmicroSDカードの定期的な交換をお勧めします。

重要なデータは、別のメディアに保存する。

保管が必要な記録データは、本体のmicroSDカードとは別に保存してください。本体のmicroSDに記録された映像などのデータは、過失や修理によって損傷したり、消去されたりします。データの損傷や消失について、本製品の企画者、製造者、販売者は一切の責任を負いません。

本製品の取り扱いに際しては以下に留意する。

- ・ 太陽などの高輝度の映像を記録すると、黒点のように映ることがありますが製品の異常ではありません。
- ・ 薄く着色されたフロントガラスでは、録画された映像の明るさや鮮明さに差異が生じます。フロントガラスをメタリックフィルムなどで着色している場合、GPSデータを受信することができない場合があります。
- ・ 本製品は、電子機器の電氣的、磁氣的な耐久性及び不干涉性に適切に配慮していますが、条件によっては干渉を受けたり与えたりする場合があります。
- ・ サンバイザーは、ドライブレコーダーに当たらないよう使用してください。

破損の原因となります。

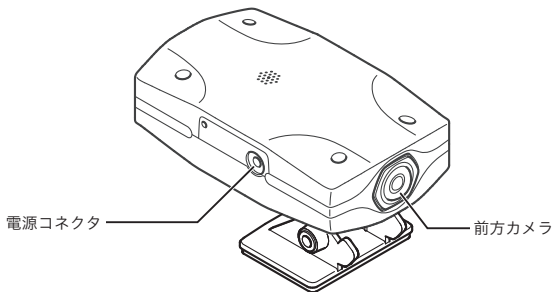
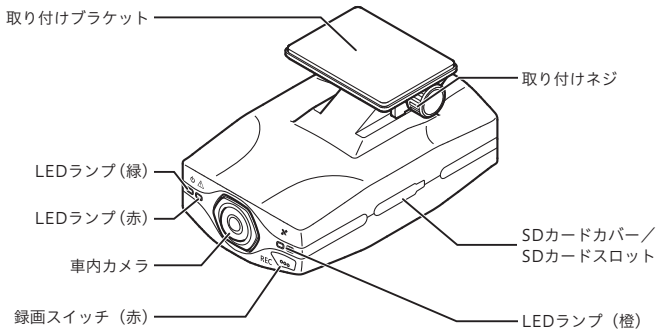
コードの扱いに注意する。

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工するなどしないでください。火災や感電、故障の原因となります。

ご使用上のお願い

- 事故発生時の映像やデータが記録されていない場合、又は映像やデータが破損していた場合でも、本製品の作動有無、使用者の事情に関わらず、本製品の企画者、製造者、販売者は一切の責任を負いません。
- 本書の内容に反する使用を行った結果、発生した事故や本製品の故障に対して、本製品の企画者、製造者、販売者は一切の責任を負いません。
- 本製品で記録された映像やデータは、裁判などの証拠として効力が必ずしも保証されるものではありません。
- microSDカードは必ず製品の付属品、又は純正品をご使用ください。指定外のmicroSDカードを使用した場合の故障や損害などについて、本製品の企画者、製造者、販売者は一切の責任を負いません。
- 本製品のハードウェア、ソフトウェアの知的財産権は製造者が保有しています。無断複製などは、関係法規に基づき、民事上の損害補償及び刑事処罰の対象となります。
- 本製品は約360°撮影が可能です。
本製品が左右方向に傾いて取り付けられても、使用上の問題はありません。
- 本製品はエンジンのON後、40秒程度で動作開始します。エンジンのON直後の映像は記録されません。
- 本製品は記録動作開始後、しばらくの間、GPSを測位できない場合があります。
- 本製品はGPSを測位するまでの間、現在地が正しく表示されません。
- microSDカード内に本機以外のデータを入れないでください。動作が不安定になることがあります。
- LED式信号機はLEDが高速で点滅しているため、信号機が点滅しているような映像が記録される場合があります。また逆光や信号機自体の輝度が低い等により、信号機の色が識別できない場合があります。信号機の識別、記録に関する内容について一切の責任を負いません。
- ナビの画面や、太陽光など外からの光を反射してダッシュボードやガラスに映り込み、映像に残る場合があります。また外部環境により映像画質が変化します。
- ガラスに水滴がついているとき、汚れているときなどは、撮影した映像が見づらくなる場合があります。
- カメラレンズの特性により、記録画像の人や障害物が実際の位置や距離と異なって見える場合があります。
- 本機で記録した映像は、その使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。これらの場合については弊社は一切責任を負いません。

各部の名称



アプリケーションのインストール

ビューアソフト・設定ツールのインストール

本製品で録画した映像は、専用のビューアソフトで閲覧します。
また、ガイダンス音量や録画設定などは設定ツールを使用して変更することができます。

ビューアソフト・設定ツールは、次のURLよりダウンロードしてください。

<https://www.technohorizon.co.jp/downloads/subaru/>



補足

ビューアソフト・設定ツールをインストールする際は、コンピュータの管理者、又はAdministrator権限のユーザーでログインしてください。

ビューアソフト・設定ツールをインストールする前に

ビューアソフト・設定ツールの動作環境は、以下のとおりです。ビューアソフト・設定ツールをインストールする前に、お手持ちのPCの仕様をご確認ください。

■ 対応PC

USBポート、及びSDカードスロット（外付け可）を搭載しているWindows PC

■ 対応OS

Windows 10 Home 32bit/64bit

Windows 10 Pro 32bit/64bit



注意

- ・日本語環境以外での動作は保証いたしません。
- ・OSは常に最新の状態にしてください。
- ・仮想環境での動作は保証いたしません。

■ CPU

Intel® Core™ i5 2.6GHz以上

■ 必要メモリ (RAM)

2GB以上 (4GB以上推奨)



補足

ご利用環境や使用する録画データによっては、更に多くのメモリが必要になる場合があります。

■ 必要ディスク容量

4GB以上



補足

保存するデータによっては、更に多くの空き容量が必要になる場合があります。

■ ディスプレイ

- ・ 画面の解像度：1024×768以上 (1920×1080以上推奨)
- ・ 色数：16ビットカラー以上
- ・ DPI設定：96DPI、又は120DPI

■ ビデオカード

DirectX 11対応、及びグラフィックドライバーがご利用中のOSに対応していること

■ サウンド機能

全二重サウンドカード、及びスピーカー

■ USB

外付けUSB-SDカードリーダーをご利用の方は、SDHC/SDXCに対応したリーダーをご利用ください。

また、法人で利用される場合、セキュリティ上の制限でUSBポートが使用できないときは、システム管理者にご相談ください。


■ インターネット環境

地図を表示するためには、インターネットの接続環境が必要です。(光接続、10Mbps以上推奨)

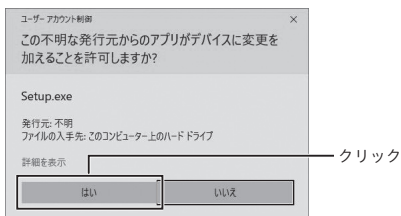
インターネットに接続できない場合は、地図が表示されません。

ビューアソフト・設定ツールをインストールする

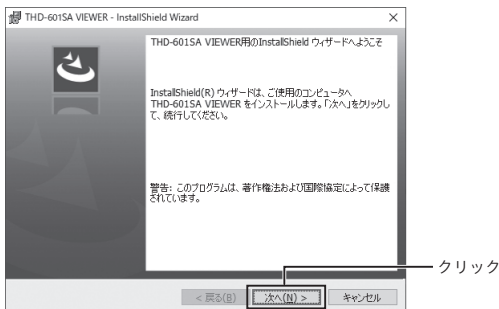
PCの環境により表示内容が異なる場合があります。

1. Setup(拡張子を表示している場合は Setup.exe) () をダブルクリックします。

2. [はい]をクリックします。



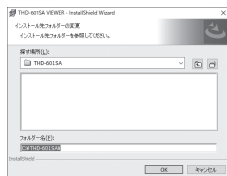
3. [次へ]をクリックします。



操作をやり直したい場合は[戻る]ボタンで前の画面に戻ることができます。また、インストールを中断したい場合は[キャンセル]ボタンで中断することができます。中断後、インストールをやり直す場合は、手順1からやり直してください。

4. インストール先を選択します。

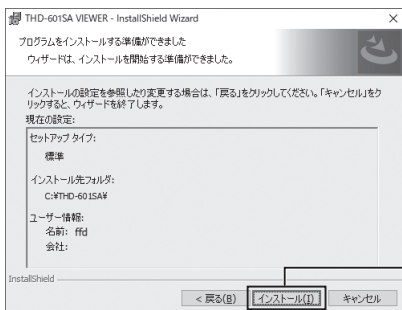
変更がなければそのまま[次へ]をクリックします。



インストール先を変更
する場合はクリックしてフォルダを選択

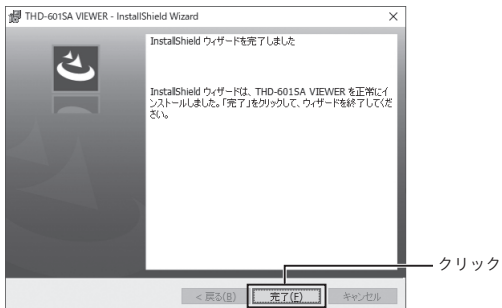
クリック



5. [インストール]をクリックします。



クリック

6. [完了]をクリックします。



インストールが正常に終了すると、デスクトップにビューアソフト () と設定ツール () のショートカットアイコンが作成されます。



補足

インストール失敗のメッセージが表示された場合は、インストール先や空き容量などをご確認いただき、始めからやり直してください。

映像を撮る

microSDカードの取り付け/取り外し



注意

microSDカードは、本製品の電源がOFFの状態でのみ抜き挿しする。電源がONの状態ではmicroSDカードを抜き挿しすると、microSDカードの破損や録画データの破損の原因となります。microSDカードを抜き挿しする際は、LEDランプが消灯していること（電源OFF状態）を確認してください。

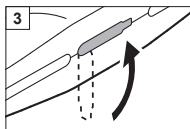
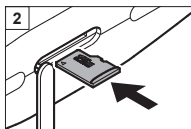
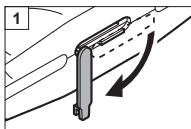


補足

記録用microSDカードはPCでフォーマット（FAT32）したものをご使用ください。

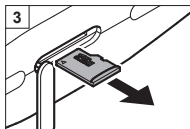
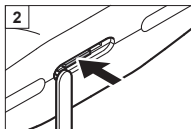
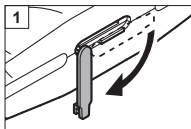
microSDカードの取り付け方法

1. SDカードカバーを外します。
2. SDカードスロットへmicroSDカードを「カチッ」と音が鳴るまで押し込みます。
3. SDカードカバーを取り付けます。



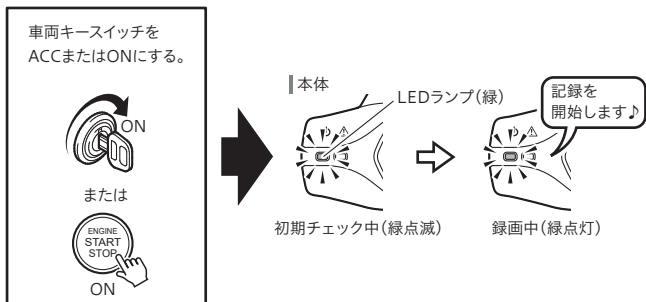
microSDカードの取り外し方法

1. SDカードカバーを外します。
2. microSDカードを軽く押し込みます。
microSDカードが少し飛び出します。
3. microSDカードを引き抜きます。



電源をONにする

車両キースイッチをACC、又はONにしてください。



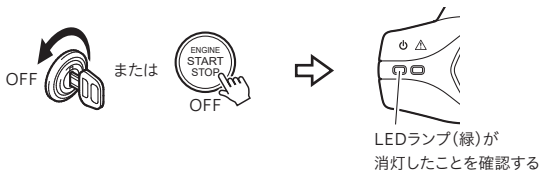
補足

- 本製品はエンジンのON後、40秒程度で動作開始します。
- 本製品は、microSDカードチェック機能を搭載しています。本機能は、起動時にmicroSDカードをチェックし、カードが認識できない場合(未挿入、カードエラーなど)は、音声ガイダンスでお知らせします。



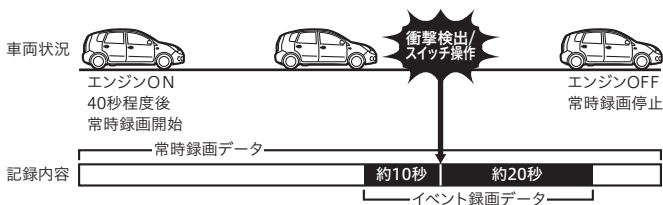
電源をOFFにする

車両キースイッチをOFFにしてください。



映像の記録について

本製品は、常時録画とイベント録画の2つの方法で映像を記録します。



常時録画 : エンジンのON40秒程度後からOFFまでの間を自動で記録します。

イベント録画: 何らかのイベント(衝撃、又は任意のスイッチ操作)を検出した時点の10秒前～20秒後までの映像を記録します。

常時録画について

常時録画は、エンジンのON(車両キースイッチをACC、又はON)40秒程度後からエンジンのOFF(車両キースイッチをOFF)までの間を自動で記録します。記録した映像は、常時録画データとしてmicroSDカードに保存されます。保存データ量がmicroSDの上限に達した場合に、古い映像から順に消去して、新しい映像の記録を続けます。

イベント録画について

イベント録画は、以下の2つの方法で映像を記録します。

- ・ 衝撃を検出した時点の10秒前～20秒後の映像を記録
- ・ スイッチ操作した時点の10秒前～20秒後の映像を記録

保存データ量がmicroSDの上限に達した場合に、古い映像から順に消去して、新しい映像を記録します。

なお、衝撃が弱い場合、衝撃によるイベント録画が行われない場合があります。その場合は、常時録画の映像をご確認ください。



補足

イベント録画の記録時間は、変更することができます。
詳しくは、「各種設定の変更」P.17を参照してください。

音声ガイダンスについて

イベント録画など内容に応じた音声ガイダンスが流れます。

■ イベント録画の音声ガイダンス

イベント内容	音声ガイダンス	LED状態
衝撃（急加速）	「急加速によるイベント記録を行いました」	LED（赤）点灯 3秒間
衝撃（急減速）	「急減速によるイベント記録を行いました」	
衝撃（急ハンドル）	「急な進路変更によるイベント記録を行いました」	
スイッチ操作※ ¹	「イベント記録を行いました」	

※¹ スイッチ操作は、本製品の「録画スイッチ（赤）」を押します。



■ その他の音声ガイダンスまたは音

ガイダンス条件	音声ガイダンスまたは音
映像の記録開始時	「記録を開始します。」
SDアクセス異常	「SDカードが認識できません。」
SD未挿入	「SDカードが挿入されていません。」
microSD未挿入/microSDアクセス異常/ ビデオロス microSD未挿入/microSDアクセス異常 の場合、音声ガイダンスの1分後から繰 り返し	「ピ」
SDカードによるファームウェア/ 設定更新開始時	「車載器を更新します。 更新中はSDカードを抜かないでく ださい。」
ファームウェア/設定更新完了	「更新が完了しました。」
未フォーマットの記録カードを 検出した時/ PCでフォーマットした記録カードを 検出した時	「新しいSDカードを認識しました。」
記録カードのフォーマット中に繰り返し	「SDカードを抜かず、そのままお待ち ください。」
ファームウェア/設定更新中に繰り返し	「更新中です。」
ファームウェア/設定更新失敗	「更新に失敗しました。」


各種設定の変更

設定ツールを使用すると、以下の設定を変更することができます。

- ・ ガイダンス音量
- ・ イベント録画発生ガイダンスの有無
- ・ 録画設定（画質）
- ・ 録音音量
- ・ イベント録画時間
- ・ 衝撃センサ感度

設定ツールの起動と終了

起動する

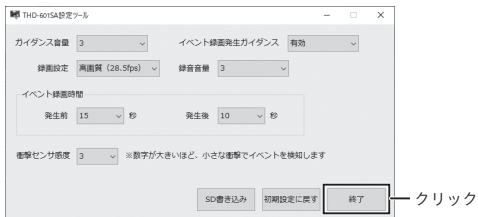
1. デスクトップ上のショートカットアイコン（）をダブルクリックします。

確認画面の後に、設定ツール画面が表示されます。

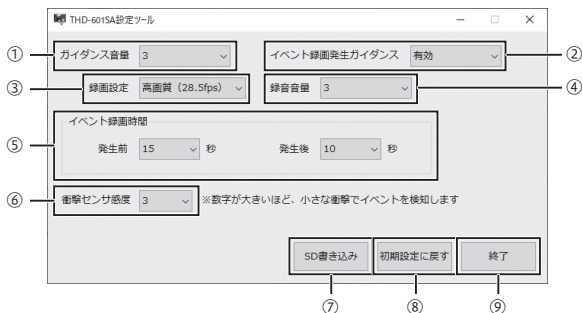


終了する

1. 設定ツール画面の「終了」ボタンをクリックします。



各部の名称と機能



	名称	機能	初期値
①	ガイダンス音量	音声ガイダンス出力時の音量を設定します。出力なし、1 (小) ~ 5 (大) から選択します。数字が大きいほど、音量が大きくなります。	3
②	イベント録画発生ガイダンス	イベント録画を行った場合に、音声ガイダンスを出力するかどうかを設定します。	有効
③	録画設定	録画時のフレームレートを設定します。高画質 (28.5fps) 長時間 (10fps) のどちらかを選択します。	高画質 (28.5fps)
④	録音音量	録音時の音量を設定します。録音しない、1 (小) ~ 5 (大) から選択します。数字が大きいほど、音量が大きくなります。	3
⑤	イベント録画時間	イベント発生前後の録画時間を設定します。発生前:0~30秒、発生後:1~30秒が設定できます。	発生前:10秒 発生後:20秒
⑥	衝撃センサ感度	衝撃センサの感度を設定します。1 (低) ~ 5 (高) から選択します。数字が大きいほど、小さな衝撃でイベントを検知します。	3
⑦	SD書き込みボタン	設定内容を保存して、microSDカードに書き込みます。書き込み時の操作については、「設定用microSDカードを作成する」P.19を参照してください。	—
⑧	初期設定に戻すボタン	設定内容をすべて初期値に戻します。初期値 = 工場出荷状態	—
⑨	終了ボタン	設定ツールを終了します。	—

設定用microSDカードを作成する

設定変更した内容をmicroSDカードに書き込んで、設定用microSDカードを作成します。



補足

設定用microSDカードと記録用microSDカードは共用することができません。

記録用microSDカードをご使用になられる場合は、フォーマットが必要となります。その場合、全ての記録データが削除されますのでご注意ください。

ドライブレコーダーの設定変更を行う場合は、記録用microSDカードとは別に設定用microSDカードをご用意ください。

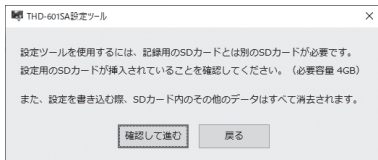
記録用microSDカードには、付属品、又は純正品のmicroSD (16GB、32GB) をご使用ください。

設定用microSDカードはPCでフォーマット (FAT32) したものを
ご使用ください。

1. microSDカードをPCに挿入します。

2. デスクトップ上のショートカットアイコン () をダブルクリック します。

確認画面が表示されます。



設定用microSDカードの準備ができている場合は、「確認して進む」をクリックしてください。

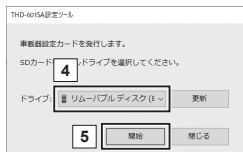
設定を行わずに終了する場合は、「戻る」をクリックしてください。

3. 任意の設定を行い、「SD書き込み」ボタンをクリックします。



4. microSDカードのドライブを選択します。

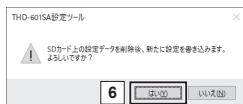
挿入したmicroSDカードのドライブが見つからない場合は、「更新」ボタンをクリックすると、ドライブの情報が最新になり、当該ドライブが表示されます。



5. 「開始」ボタンをクリックします。

6. 「はい」ボタンをクリックします。

microSDカード上の全てのデータを削除後、新規に設定用データを書き込みます。



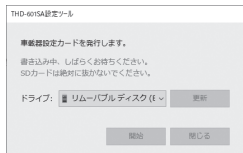
注意

microSDカードへの書き込み中は、microSDカードを絶対に抜かない。

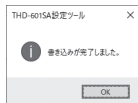
microSDカード書き込み中にmicroSDカードを抜くと、microSDカードの破損の原因となります。

書き込みが完了すると、書き込み完了のメッセージが表示されます。

microSDカード内に設定用ファイル「MASTERCARD.TCC」が生成されていることを確認してください。



7. microSDカードをPCから取り外します。



変更した設定を反映する



設定の変更操作は、必ず電源がOFF（エンジンOFF）の状態から始める。

注意

電源がONの状態ではmicroSDカードを抜き挿しすると、microSDカードの破損の原因となります。

1. 「設定用microSDカード」をSDカードスロットへ挿入します。

2. 電源をONにします。

設定内容が更新されます。

更新中は以下の音声ガイダンスが流れます。

» 車載器を更新します。更新中はSDカードを抜かないでください。

» 更新中です。

» 更新が完了しました。

3. 電源をOFFにします。

4. 「設定用microSDカード」をSDカードスロットから取り外します。


以上の操作で、設定内容が変更されました。

本操作の後には、忘れずに「記録用microSDカード」をSDカードスロットに挿入してください。

映像を見る

ビューアソフトの起動と終了


起動する

1. デスクトップ上のショートカットアイコン () をダブルクリックします。

ビューアソフトの初期画面が表示されます。



終了する

1. ビューアソフトの画面右上の  をクリックします。



ビューアソフトが終了します。

ビューソフトの操作方法

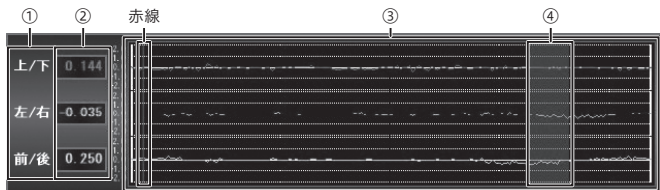
各部の名称と機能



①	映像表示部	記録データリスト表示部 (③) で選択した記録データの映像を表示します。上側 1 は前方カメラ、下側 2 は車内カメラです。 表示選択によって、1画面表示、分割表示ができます。右下部に記録日時を表示します。 範囲を指定して拡大表示することができます。 詳細は「映像を拡大表示する」P.39を参照してください。
②	加速度センサー表示部	3軸加速度センサーの波形情報を表示します。 詳細は「各部の詳細機能/加速度センサー表示部」P.24を参照してください。
③	記録データリスト表示部/地図表示部	記録データのリストや地図を表示します。 上部タブの選択により表示内容を変更します。 詳細は「各部の詳細機能/記録データリスト部/地図表示部」P.25を参照してください。
④	位置情報表示部	記録データのGPS位置情報を表示します。 詳細は「各部の詳細機能/位置情報表示部」P.30を参照してください。
⑤	再生制御部	記録データの再生ほか一連の操作を行います。 詳細は「各部の詳細機能/再生制御部」P.31を参照してください。

各部の詳細機能

加速度センサー表示部 (②)



①	軸名称	上/下 (紫)、左/右 (緑)、前/後 (青) の3軸があります。
②	加速度値	各軸の瞬間 (赤線位置) の加速度値を表示します。
③	波形・グラフ	3軸加速度センサーの波形を表示します。 グラフは、一定期間の加速度値を表示し、赤線で再生日時時のグラフ上での位置を表示します。
④	イベント発生 時間帯	イベント録画データ再生時は、イベントが発生した時間帯を網掛け (薄赤色) 表示します。



補足

グラフは、加速度値を表示しており、車両固有の振動などにより運転挙動以外の大きな波形が表示される場合があります。

車載器の危険運転挙動検知には、これら振動などをキャンセルするアルゴリズムを使用し、波形の大きさ、時間を分析して検知しています。なお、波形が大きく表示されても、直ぐに危険運転挙動と判断されるものではありません。

記録データリスト部/地図表示部 (③)

1) SD再生



A	SD再生タブ	microSDカードの記録データリストを表示します。
B	ドライブ選択	microSDカードを挿入したドライブを選択します。
C	更新ボタン	挿入したmicroSDカードから記録リストを読み込みます。
D	録画種類選択	リスト表示を録画種類ごとに選択できます。 チェックボックスにチェックを付け、更新ボタンを押すと該当する記録データがリストに表示されます。 常時録画は、ACC-ONからACC-OFFまでの記録データです。 イベント録画は、加速度センサー（急加減速、急ハンドル、衝撃、スイッチ操作）による記録データです。

常時録画データを選択した場合に表示されます。クリックすると、下記のイベント情報集計表を表示します。選択した常時録画データの危険運転項目の検知回数を表示しています。

情報		急加速	急ブレーキ	急ハンドル
E-1	危険レベル			
	1 (危険度高)	0	0	0
	2	0	0	0
	3	0	0	1
	4	0	0	0
	5	0	1	1
	6 (危険度低)	0	2	0
E-2	衝撃			0

E

イベント情報
表示ボタン

E-1：危険レベル

数字が低いほど、危険度が高い運転挙動になります。

E-2：衝撃

加速度の値は大きいですが、短時間の衝撃が発生した場合に検知します。段差や牽引車両、積荷の挙動などで検知する場合があります。また、危険な運転や事故の際にも検知する場合があります。

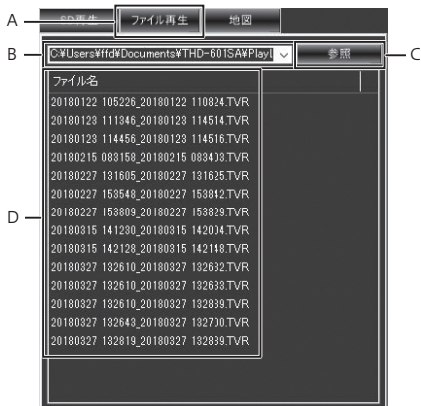


補足

危険レベルは、車両やドライブレコーダーの設置状態によって正しく検知できない場合があります。また、荷積み時の衝撃などによっても反応する場合があります。安全運転の目安として、映像確認とあわせてご利用ください。

F	リスト表示部	<p>記録データのリストを表示します。 各項目欄をクリックするたびにデータを昇順、降順で並べ替えます。 記録開始日時: 記録データの記録開始日時を表示します。 録画種類: 常時録画、イベント録画の種別を表示します。 イベント種類: イベント録画が発生した際の発生理由を表示します。「急加速1～6/急ハンドル1～6/急ブレーキ1～6/衝撃/録画スイッチ」を表示します。</p>
G	バージョン	<p>本製品のファームウェアのバージョンを表示します。</p>

2) ファイル再生



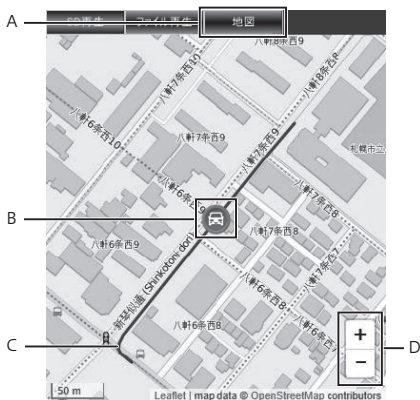
A	ファイル再生タブ	HDDに保存した記録データリストを表示します。
B	フォルダ	記録データを格納するフォルダのパスを表示します。 過去に表示したフォルダのパスはリスト化され、このリストからもフォルダを選択することができます。
C	参照ボタン	リスト表示するフォルダを選択します。
D	ファイルリスト	選択したフォルダ内に格納されている記録データの一覧を表示します。




補足

microSDカードの記録は、古いデータから上書きされます。
保存したいデータがある場合は、運転者や日付などでフォルダを分類し、分かりやすい名称で保存すると後から再生する場合に、目的のデータを検索しやすくなります。
記録データのHDD保存の方法については「動画を保存する」P.34を参照してください。

3) 地図



A	地図タブ	記録データを選択後、地図タブをクリックすると記録データリスト表示部に地図が表示されます。
B	車両表示マーク	車両の現在位置を表示します。 停止中や、低速時、又はGPSの電波受信状況により、車両の位置が正しく表示されない場合があります。
C	走行軌跡表示	<p>GPSの位置情報を用いて、走行した経路を表示します。常時録画データの場合は20秒間隔、イベント録画データの場合は1秒間隔でプロットして直線で結びます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • GPSの位置精度により正しく表示されない場合があります。 • トンネルなど、GPSの電波を受信できない時間帯は、最後に受信した地点を表示します。 • 常時録画データは20秒間隔でプロットするため、地図上の道路と軌跡が一致しない場合があります。 </div>
D	縮尺変更	地図の縮尺を変更します。 +で地図を拡大(縮尺:小) -で地図を縮小(縮尺:大)

位置情報表示部 (④)



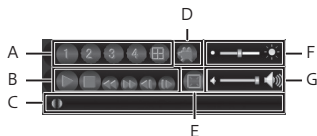
A	車速表示部	車速を数字で表示します。
B	緯度表示部	緯度(N:北緯、S:南緯)を時分秒で表示します。
C	経度表示部	経度(E:東経、W:西経)を時分秒で表示します。
D	位置精度表示部	GPS電波の受信状況を表示します。 100に近いほど受信状態が良好であることを示します。



補足

GPSの受信状況は、トンネルや建物の間、車両内のGPSアンテナ遮蔽物の有無などにより変化します。

再生制御部 (⑤)



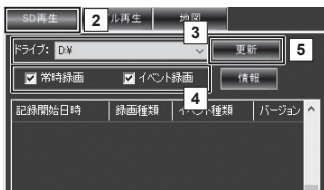
A	再生画面表示 切り替え	<p>1 2 3 4 田 をクリックすると、映像表示部の表示が切り替わります。</p> <p>1 2 3 4 を選択すると、それぞれを単画面表示します。</p> <p>田 を選択すると、記録された全CHを分割表示します。</p>
B	再生操作ボタン	<p>▶ : 再生を開始します。 再生中は が表示され、 をクリックすると一時停止します。</p> <p>■ : 再生を停止して先頭に戻ります。</p> <p>◀◀ : 早戻しをします。</p> <p>▶▶ : 早送りをします。 早送り/早戻しは、ボタンをクリックするたびに2倍→4倍→8倍→16倍となり、16倍からもう一度クリックすると2倍に戻ります。</p> <p>◀ : コマ戻しをします。</p> <p>▶ : コマ送りをします。 ボタンをクリックするたびに1コマ移動します。</p>
C	スライダーバー	<p>スライダーは、再生位置を表します。 スライダーをドラッグするか、スライダーバー上の任意の位置をクリックすると、再生位置を移動します。 (再生中に操作することも可能です。)</p>
D	保存ボタン	<p>田 をクリックすると選択中の記録データをパソコン内に保存します。 詳細は「動画を保存する」P.34を参照してください。</p>
E	全画面表示	<p>田 をクリックすると映像を全画面表示します。 詳細は「映像を全画面表示する」P.41を参照してください。</p>
F	明るさ調整	映像の明るさを調整します。
G	音量調整	記録音声の再生音量を調整します。

再生する

本ビューアソフトではmicroSDカードとHDDに保存された記録データのいずれかを選択して再生することができます。

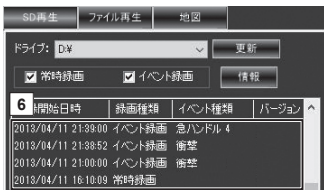
microSDカードの記録データを再生する

1. SDカードをPCに挿入します。
2. SD再生タブを選択します。
3. ドライブを選択します。
4. 録画種類を選択します。
5. 「更新」ボタンをクリックします。



6. 再生したい記録データを選択します。

選択した記録データが青色に変わり、再生が開始されます。



HDDに保存した記録データを再生する

1. ファイル再生タブを選択します。

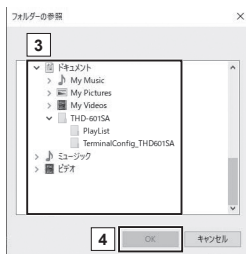
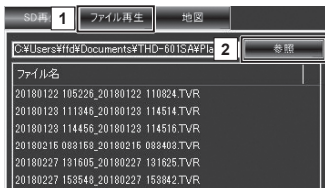
2. 「参照」ボタンをクリックします。

3. 保存先フォルダを選択します。

4. 「OK」ボタンをクリックします。

5. 再生したい記録データを選択します。

選択した記録データが青色に変わり、再生が開始されます。

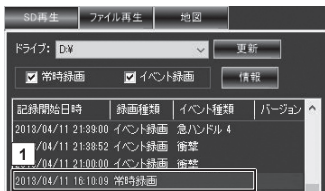



動画を保存する

本ビューアソフトは、microSDカード上の記録データをHDDに保存することができます。

常時録画を保存する

1. 保存するmicroSDカードの常時録画データを選択します。



2. 動画保存ボタン[]をクリックします。



3. 動画保存する時間帯(シーン)を選択します。

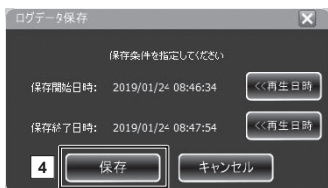
- 選択した記録データのすべての時間帯を保存する場合
すべての時間帯を保存する場合は、このまま手順4.へ進みます。

● 時間帯(シーン)を選択して保存する場合

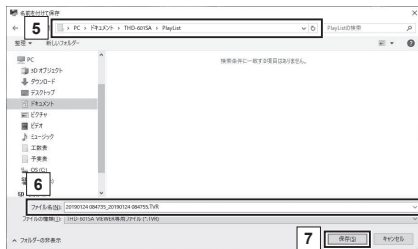
- 1) スライダーバーを操作し、保存したいシーンの先頭を表示させます。
- 2) 保存開始日時の「再生日時」ボタンで開始日時を決定します。
- 3) スライダーバーを操作し、保存したいシーンの終端を表示させます。
- 4) 保存終了日時の「再生日時」ボタンで終了日時を決定します。



4. 「保存」ボタンをクリックします。

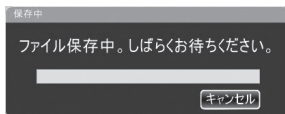


5. 保存先フォルダを選択します。
6. ファイル名を入力します。
7. 「保存」ボタンをクリックします。



ファイル種類選択で、MP4フォーマット(*.MP4)を選択すると、Windows Media Playerなどの一般的なメディアプレーヤーで再生することができます。MP4ファイルの保存には、最大で録画時間同等の時間がかかる場合があります。

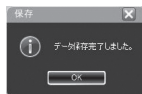
「保存」ボタンをクリックすると、データ保存中のダイアログが表示されません。



注意

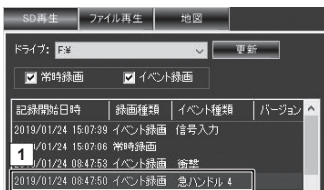
データ保存中のダイアログが表示されている間は、絶対にmicroSDカードを抜かないでください。
microSDカードを抜き取った場合、データの保存ができなくなるだけでなく、microSDカードのデータを破損する場合があります。

保存が完了すると「データ保存完了しました。」と表示されます。

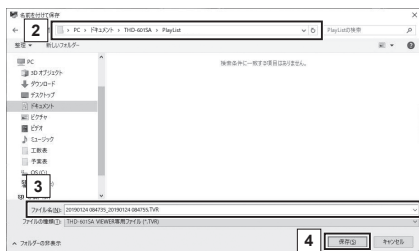


イベント録画を保存する

1. 保存するmicroSDカードのイベント録画データを選択します。



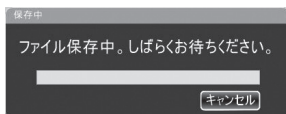
2. 保存先フォルダを選択します。
3. ファイル名を入力します。
4. 「保存」ボタンをクリックします。



補足

ファイル種類選択で、MP4フォーマット (*.MP4)を選択すると、Windows Media Playerなどの一般的なメディアプレーヤーで再生することができます。MP4ファイルの保存には、最大で録画時間同等の時間がかかる場合があります。

「保存」ボタンをクリックすると、データ保存中のダイアログが表示されます。



データ保存中のダイアログが表示されている間は、絶対にmicroSDカードを抜かないでください。

注意

microSDカードを抜き取った場合、データの保存ができなくなるだけでなく、microSDカードのデータを破損する場合があります。

保存が完了すると「データ保存完了しました。」と表示されます。



映像を拡大表示する

映像を拡大表示する

1. 映像上でマウスの左ボタンを押します。



2. マウスの左ボタンを押したままドラッグし、拡大表示する範囲を選択します。



3. マウスの左ボタンを放し、拡大表示する範囲を決定します。
指定した範囲が拡大表示されます。



- 選択範囲が小さい場合は、拡大表示されません。
- 拡大表示中に同じ操作を繰り返すことで、更に拡大できます。ただし、10倍を超える大きさに拡大することはできません。

拡大表示を解除する

拡大表示中の映像をダブルクリックすると、拡大表示が解除され、通常の表示に戻ります。

映像を全画面表示する

全画面表示する

1. 全画面表示ボタンをクリックします。



ビューアソフトが全画面表示されます。



全画面表示中も再生操作を行うことができます。

ウィンドウ表示に戻す

1. 全画面表示中に全画面表示ボタンを再度クリックします。



パノラマ表示

映像をパノラマ表示する

1. 前方カメラ映像、又は後方カメラ映像の単画面表示に切り替えます。
2. 映像上でマウスの右ボタンを押します。



3. マウスの右ボタンを押したまま、左右任意の方向へドラッグします。



4. マウスの右ボタンを放しません。



パノラマ表示を解除する

- 前方カメラ映像、又は後方カメラ映像の単画面表示にする場合

再生制御部のカメラ切り替えボタンをクリックして単画面表示に切り替えるか、単画面表示させたい映像をマウスの左ボタンでダブルクリックします。

- 前方カメラ映像、後方カメラ映像の上下同時表示にする場合

- ・再生制御部の分割表示ボタンをクリックします。

付録

よくあるご質問

よくお問い合わせいただくご質問を記載しています。下記内容をご確認ください。

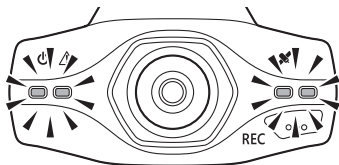
症状	ここをチェックしてください。
LEDランプが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none">• ヒューズが切れていませんか？• 接触不良や断線などしていませんか？
GPS衛星を受信しない。	<ul style="list-style-type: none">• フロントガラスが断熱ガラスなどではありませんか？ (P.4参照)• 本体カメラ側に電波を遮断する物がありますか？
記録した映像を削除したいのですが？	<ul style="list-style-type: none">• パソコンでmicroSDカードの初期化を行うことで映像を削除することができます。ただし、特定の映像だけを削除することはできません。microSDカード内のすべてのデータが消去されます。
事故の衝撃映像が保存されていない。	<ul style="list-style-type: none">• 事故時の衝撃によっては、衝撃録画されない場合があります。その場合、常時録画に映像が残っているか確認してみてください。
microSDカードの容量がいっぱいになったらどうなりますか？	<ul style="list-style-type: none">• microSDカードの容量がいっぱいになると古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。(P.14参照)
microSDカードに録画データが保存されていない。	<ul style="list-style-type: none">• microSDカードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。3年を目安に交換することをお勧めします。また使用状況によりmicroSDカードの寿命は短くなります。• 製品の付属品、又は純正品を使用していますか？指定外のmicroSDカードを使用した場合、正常に録画できないことがあります。
記録した映像は、事故の証拠として認められていますか？	<ul style="list-style-type: none">• 完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
microSDカードがパソコンで認識されない。	<ul style="list-style-type: none">• お使いのSDカードリーダーはSDHCに対応していますか？付属のmicroSDカードはmicroSDHCカードであるため、SDカードリーダーがSDHCに対応している必要があります。

LED ランプ確認表

LEDにエラー表示されたら、下記の症状と確認事項をご確認ください。

LED	内容	原因/対処
LED (緑)が消灯	車載器本体及び配線に異常があります。	電源コネクタが接続されているか確認してください。
LED (赤)が点灯	カメラ、microSDカード、または車載器本体に異常があります。	microSDカードが挿入されているか確認し、microSDカードを挿入してください。
LED (橙)が点灯 ^{※1}	GPSが測位できません。	上空が開けている場所へ移動して、LED (橙) が消灯するか確認してください。
LED全て点滅	本製品の故障です。	修理が必要です。

※1 初回電源投入後は、GPSを測位するまでに数分間かかります。
また、トンネル、地下、車庫など場所によってGPSの電波が受信できない場合があります。



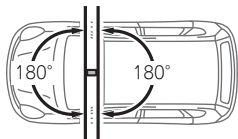
製品仕様

外形寸法	68 (W) x106 (D) x30 (H) mm	
本体重量	250g	
記録媒体	microSDHC (16GB、32GB)	
映像素子	前方カメラ	1/2.8型CMOSセンサー
	後方カメラ	1/2.8型CMOSセンサー
最大記録 画角	前方カメラ	水平180度 垂直80度
	後方カメラ	水平180度 垂直80度
最大記録 映像サイズ	前方カメラ	1920x1080ドット以上 最大28.5fps
	後方カメラ	1920x1080ドット以上 最大28.5fps
GPS	あり	
加速度センサー	あり (3軸 最大±2G)	
映像ファイル形式	H.264	
記録映像再生方法	PCソフトウェア (専用ビューアー、設定ソフト)	
電源入力	本体	DC5V±10%
	専用電源 ケーブル	DC12V/24V
消費電力	8W	
作動温度範囲	-10°C～60°C (90%RH) 以下結露なきこと	
保管温度範囲	-20°C～85°C (90%RH) 以下結露なきこと	

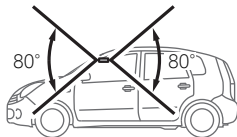
本製品の仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

カメラ画角イメージ

■水平角度



■垂直角度



※ 実際の取付位置は、車両によって異なります。

保証とアフターサービス

● 保証について

本機の保証期間はメンテナンスノートに記載されている登録日、又は取付日より3年、又は走行距離60,000kmです。

● 修理に関するご相談は・・・

修理などのアフターサービスについては、お買い上げの販売店にご相談ください。

● 保証期間中は・・・

お買い上げの販売店が修理させていただきます。

ご依頼の際はメンテナンスノートのコピーを必ずご提示ください。本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外となります。

● 保証期間経過後は・・・

お買い上げの販売店にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

